

# 小松島市水道事業経営計画

平成29年3月策定

(計画期間：平成29年度から10年間)

「小松島市新水道事業ビジョン」の実施計画として、今後10年間の建設改良事業や財政収支を示す「小松島市水道事業経営計画」を策定しました。

本市の水道事業は給水量が、今後10年間で16%減少すると予想される一方で、

水道システムの事故や災害への対応など、いくつもの課題を抱えています。また、これらに対応する施設整備とその財源確保が、大きな問題となっています。

小松島市水道事業経営計画では、「小松島市新水道事業ビジョン」の理想像「持続・安全・強靱」の実現に向け、「供給安定性の確保・向上」

「健全経営の維持」「水道関係者との連携強化」を事業

運営方針としています。今後は、水道施設整備・更新

事業計画を作成し、バックアップ機能を有する新しい水道システムの構築を目指して

います。

※計画書は市ホームページで公表していますので、ご参照ください。

※小松島市水道事業経営計画の事業概要については下図の通りです。



## 事業①

水源・浄水場が単一系統で、市内全域が配水区域あることにより事故時に市内全域が断水し、長期化しやすいことや地中内漏水、管路破裂等のリスクを軽減し、貯留容量を増強するため、南部配水池を新設し配水区域を分割(後期5年：15億6千万円)

## 事業②

主要幹線管路の一部が単線であることにより、事故時の減断水が広範囲に及ぶことを改善するため、単線管路を複線化する配水管を新設(前期5年：5億7千万円)

## 事業概要

